

防災エキスパートだより

今年度、防災エキスパート活動マニュアルが改訂されたことを受け、6年ぶりに防災手帳が改訂されました。これをはじめとして現在までの防災エキスパート活動内容をお知らせいたします。

<防災エキスパート防災手帳の改訂について>

青い表紙の防災ハンドブックから、緑色の防災手帳へと改訂が行われました。

主な改訂点は以下のとおりです。

1. 自発的モニター活動の範囲の拡大

従来の自発的モニターの活動は「震度6弱以上の地震発生時のみ」と限定していたため、東海豪雨などの災害では活動の対象になっておりませんでした。今回の改訂により、洪水などの災害においても活動して頂けることとなりました。

2. 活動系統図について

従来は、各事務所からの出動依頼は、局及び事務局（本所）を経由しておりましたが、迅速に災害時の依頼を行うために防災訓練結果等をふまえ事務所から事務局（支

所）へ直接出動依頼をするようになりました。

3. 手帳記載内容の見直し

活動にあたって、情報収集のためのポイントなど、活動時に役立つページを追加しました。またエキスパートの方々の意見を取り入れ、報告用紙に耐水ペーパーを採用しました。

この防災手帳については、これからも皆様からの意見を取り入れ改善していきたいと思っております。ご意見等ありましたら、エキスパート事務局までお願いします。

<今年の防災エキスパートの動き>

1. 新規登録者33名に登録書交付

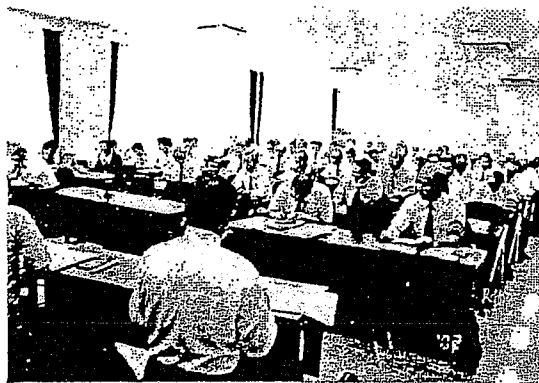
今年の整備局退職者を中心に33名の新規登録者があり、7月4日に中部建設協会にて登録書交付式が行われました。現在までの登録者は、愛知県184名 岐阜県143名 三重県73名 静岡県78名 長野県40名で、合計518名となっております。

2. 防災エキスパート地区研修会実施状況

7月に各地で研修会が行われ、愛知112名、岐阜90名、三重55名、静岡68名、長野33名の方が参加されました。

各ブロックでは、防災対策官からは最近の防災業務についての説明、各工事事務所からは、重要水防箇所、防災重点箇所などの説明がありました。長野・愛知・静岡ブロックでは、気象予報士の講演「気象情報の利用について」が行われました。

また、岐阜ブロックでは研修会の午前中に世話役と岐阜国道工事事務所長、副所長、防災対策官、管理第二課長を交えて意見交換会が行われました。平成13年度の災害事例（国道41号落石、豪雨による転石、法面崩壊、倒木処理）や防災訓練などについて話し合いがなされました。



研修会風景（静岡ブロック）



塚本 芳久氏講演（愛知ブロック）

発行：中部地方防災エキスパート事務局 （社）中部建設協会 企画部
名古屋市中区丸の内3-5-10 住友商事丸の内ビルディング8階
TEL052-962-2227 FAX052-962-9083

3,平成14年度防災エキスパート訓練報告
9月3日に中部地方整備局と合同で防災訓練が行われ、50名の方が自発的モニター活動や、依頼による出動で防災訓練を行いました。

防災訓練後に、参加されたエキスパートの方々から報告された反省点等には、以下のようなものがありました。

- ①被災箇所点検が目的であれば、1グループ3人を基本とされたい。
- ②東海地震などが避けられない状況の中で、今こそ本番を考えて対応を考えるべき。各個人の心構えの再認識、装備等の準備など出来るものから始め、エキスパートによる事務局支援についても検討が急務と考えられる。
- ③チェックシートをアレンジして出張所へ連絡したら、FAXして下さいと言われ、会社からFAXを入れたが、現場からのFAXは無理があると思われる。
- ④自発的モニターのチェックシートは、被災報告とした方が良いのではないかと。現実には被災のない箇所まで事務所が対応する余裕はないのではないかと。
- ⑤防災エキスパートは出動した場合の必須事項について、最小限自分のとるべき対応について再認識する必要がある。
- ⑥防災手帳の防災業務担当者名簿に維持出張所の電話番号がないが、あると良い。アドレス帳は常に持ち歩いている。
- ⑦災害時は携帯電話からのメール連絡が、相手に繋がりがやすいのではないかと。

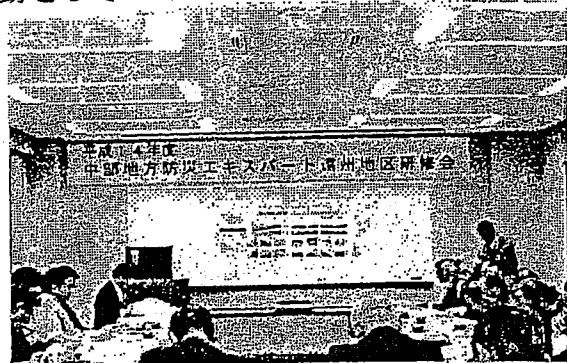
⑧出張所職員と合同で被災箇所の点検を行う場合の足は、官用車に同乗可能か？

このうち⑧の官用車への同乗の件につきましては、中部地方整備局より同乗することが可能との回答を頂いております。

他にも数々の意見を頂いております。事務局支援や、連絡方法などの意見につきましては今後事務局で検討をしていきたいと思っております。

4, 遠州地区研修会

去る12月9日、浜松工事事務所と遠州地区の防災エキスパートで「迅速・正確な情報、収集活動を効果的に行うには」をテーマに実践に向けた研修会が行われました。内容は、①国交省が欲しい情報は何か、②要注意箇所地先・項目の把握、③連絡システムの充実、④事例「浜名バイパス緊急復旧事業」で、危機管理意識の高揚と有意義な活動をしていくことについて学びました。



<お知らせ>

災害ボランティアセミナー開催案内
来る平成14年度防災とボランティア週間中の1月21日に長野県駒ヶ根市において災害ボランティアセミナーを開催します。講演予定は、
防災情報機構 伊藤和明氏
長野県災害救助犬協会 笹原正人氏
なお、どなたでも聴講できます。問い合わせは長野支所(0265)83-2800までご連絡下さい。

<お願い>

- 1, 研修会・講演会への積極的参加について
防災エキスパート研修会・講演会では管

内の状況や防災に関する多くの情報を得ることが出来ますので、皆様の積極的な参加をお願いします。

2, 活動終了後における報告について

防災エキスパート活動に関する傷害保険制度は、活動中はもちろん、自宅や会社に帰還するまで適用されます。このため出動や訓練時には、帰宅又は帰社された時点で帰宅報告をいただきますようお願いいたします。

3, 防災エキスパート活動への意見について

年間を通じて、各研修会、防災訓練等で活動への意見をお聞きしておりますが、ご意見等がありましたら、いつでも事務局までお知らせ下さい。

防災エキスパート登録者を随時募集中！
大規模災害発生時には災害情報の収集、伝達が非常に重要となります。
中部地区在住で河川・道路等の整備、管理等のノウハウを持ち、防災エキスパート活動にご協力いただける方は、是非ご登録をお願いします。 問い合わせ先：事務局まで

編集後記：
東海地震はいつ起きてもおかしくない状況といわれています。東海豪雨以降の出動事例はありませんが、心を引き締めいざという時に備え、支援の準備と防災知識の拡充に今後とも取り組んでいきたいと思っております。